【専門職向け】　「在宅高齢者のリスク管理」に関するアンケート調査

　　　　回答日　令和元年　　月　　日

　一社）日本作業療法士協会では医療・福祉・介護分野のマンパワー不足と科学的介護の推進を目的として、都道府県ごとにテーマを設け、介護に携わるご家族や関係者、専門職の皆様を対象にアンケート調査を実施し、問題解決のための介護ロボットの提案を行います。

本アンケートで得られた結果は在宅高齢者支援に関する貴重な声として、今後のプロジェクトに反映させるとともに、社会に発信すべき成果が得られた場合、学会等で結果を報告させていただきますのでご了承ください。発表において回答者の個人情報が特定されることはありません。また、アンケートにお答えいただき、返信が得られたことをもって、本調査に対して同意を得られたものといたします。重ねてご理解ご協力頂きますようお願い申し上げます。

【注意事項】今回、在宅高齢者のリスク管理についてお尋ねします。

＊ここでいう「リスク管理」は、高齢者の在宅生活に潜む危険性や事故、その他問題となり得るであろう事柄としています。

＊ここでいう「支援」とは専門知識を元にした高齢者の在宅生活に関する助言を含むものとします。

＊ここでいう「在宅高齢者」は、独居、同居の別、認知症の有無や程度は問いません。しかし、今回のアンケートにおいて対象となる高齢者は要支援者、要介護1～3に限ります。

下記の設問にお答えください。

Q.在宅高齢者のリスク管理に関して支援の経験がありますか。

　□ある　　　□なし

1.基本情報

１）あなたがお住いの地域について教えて下さい。

　□本土　　□離島

２）所属

　□通所サービス（通所介護、通所リハビリなど）　□短期入所サービス（短期入所生活介護など）

　□訪問サービス（訪問介護・看護・リハビリなど）

　□施設サービス（特別養護老人ホーム・老人保健施設・グループホームなど）

　□介護適用外の施設サービス（有料老人ホーム・サ高住など）　□小規模多機能型居宅介護

　□居宅介護支援事業所　　□福祉用具事業所　　□医療機関　　□行政職員

□医療・介護・福祉専門職以外　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３）あなたの性別

　□男性 　 □女性

４）あなたの年齢

【　　　　　】歳

５）あなたの専門職としての経験年数を教えて下さい。

【　　　　　】年

６）あなたの職種について、該当するものに☑をつけてください。（専従しているもの）

　□民生委員　□介護職員　□看護職員　□保健師　□介護支援専門員　□社会福祉士

□福祉用具専門相談員　□リハビリテーション専門職　□行政職員　□その他（　　　　　　　）

2.在宅高齢者の支援の現状について

１）在宅高齢者のリスク管理において、あなたが経験したことのある分野をすべて選び、☑をつけてください。（複数回答）

　□火の始末　□金銭管理　□交通事故　□防犯（戸締り・詐欺被害）　□徘徊　□服薬管理

　□衛生管理（食中毒等）　□室温管理（熱中症等）　□転倒　　□保清管理　　□栄養状態

　□災害時の避難　□誤嚥　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２）在宅高齢者のリスク管理について難しさを感じたことがありますか。

　　□　①よくある　　□　②ときどきある　　□　③あまりない　　□　④ない

**※①②③を選択した方は、以降の設問に回答してください。**

**※④を選択した方は、設問6）へおすすみください。**

３）在宅高齢者のリスク管理において、特にどの項目に難しさを感じましたか。

　　該当するもの**上位3つ**に順位をつけて回答してください。　記入例：【　1　】〇〇〇

【　　】火の始末　【　　】金銭管理　【　　】交通事故　【　　】防犯（戸締り・詐欺被害）　【　　】徘徊　【　　】服薬管理　【　　】衛生管理（食中毒等）

【　　】室温管理（熱中症等）　【　　】転倒　　【　　】保清管理　　【　　】栄養状態

　【　　】災害時の避難　【　　】誤嚥　【　　】その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

４）以下のうちどのようなトラブルが見られた場合、在宅生活の継続が難しいと思いますか。

該当するもの**上位3つ**に順位をつけて回答してください。　記入例：【　1　】〇〇〇

【　　】火の始末　【　　】金銭管理　【　　】交通事故　【　　】防犯（戸締り・詐欺被害）　【　　】徘徊　【　　】服薬管理　【　　】衛生管理（食中毒等）

【　　】室温管理（熱中症等）　【　　】転倒　　【　　】保清管理　　【　　】栄養状態

　【　　】災害時の避難　【　　】誤嚥　【　　】その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

５）ご自身の支援経験の中で、問３）問４）にまつわるエピソードをお聞かせ下さい。

６) ご本人や家族等に福祉機器（徘徊センサーや見守り機器等）導入を薦めたことがありますか？

　□　①ある　　□　②ない

**※①に該当する方は、以下の設問にお答えください。**

**※②に該当する方は、設問10）へおすすみください。**

７) 以下のどの項目に関する福祉機器を薦めましたか。該当するものに☑をつけて下さい。（複数回答）

　□火の始末　□金銭管理　□交通事故　□防犯（戸締り・詐欺被害）　□徘徊　□服薬管理

　□衛生管理（食中毒等）　□室温管理（熱中症等）　□転倒　　□保清管理　　□栄養状態

　□災害時の避難　□誤嚥　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

８)７）で選択した福祉機器のうち効果が得られなかった機器について、該当するものに☑をつけて下さい。（複数回答）

□火の始末　□金銭管理　□交通事故　□防犯（戸締り・詐欺被害）　□徘徊　□服薬管理

　□衛生管理（食中毒等）　□室温管理（熱中症等）　□転倒　　□保清管理　　□栄養状態

　□災害時の避難　□誤嚥　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□該当なし

９)効果が得られなかった理由について、該当するものに☑をつけて下さい。（複数回答）

　□利用者が勝手に外してしまった　□誤動作が多かった　□操作が難しかった

　□故障した　□選定ミス　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□該当なし

10）在宅生活におけるリスク管理を行う上で、どのような福祉機器があると良いと考えますか？

11）リスクを回避するための福祉機器の導入に対して、月々どのくらいの費用負担ならおすすめしますか？

月々（　　　　　　　）円程度。

**質問は以上です。貴重なご意見ありがとうございました。**